

第8回 日本オープンイノベーション大賞 応募用紙

基本情報				
応募内容の名称 (50字以内)				
応募者一覧		個人名応募の場合「組織・部署・役職・氏名」 組織名応募の場合「組織・部署」 を記入下さい。		
(代表)応募者①				
応募者②				
応募者③				
応募者④				
応募者⑤				
応募区分		☐ 自薦 ☐ 他薦 他薦者所属・氏名 ()		
連絡 窓口	氏名	(ふりがな:)		
	所属機関			
	電話番号	() - -	E-Mail	@
中心的役割を担う組織 ☐ 産業界（大企業） ☐ 産業界（中小企業、スタートアップ企業） ☐ 公的研究機関 ☐ 大学・教育機関 ☐ その他（地方自治体、社団法人、非営利団体、学会等）				
取組が関連する分野（最大2つ） ☐ 機械 ☐ 船舶・海洋 ☐ 航空・宇宙 ☐ 電気電子 ☐ 化学 ☐ 繊維 ☐ 金属 ☐ 資源工学 ☐ 建設 ☐ 上下水道 ☐ 衛生工学 ☐ 農業 ☐ 森林 ☐ 水産 ☐ 経営工学 ☐ 情報工学 ☐ 応用理学 ☐ 生物工学 ☐ 環境 ☐ 原子力・放射線 ☐ 医歯薬・健康科学 ☐ その他 () ※各分野の詳細は応募要項をご参考ください				
希望する賞名 ①科学技術政策担当大臣賞 ②総務大臣賞 ③文部科学大臣賞 ④厚生労働大臣賞 ⑤農林水産大臣賞 ⑥経済産業大臣賞 ⑦国土交通大臣賞 ⑧環境大臣賞 ⑨スポーツ庁長官賞 ⑩日本経済団体連合会会長賞 ⑪日本学術会議会長賞 全応募状況を鑑み、審査対象を調整させて頂いた結果、ご希望以外の賞で審査する事があります事ご了承下さい。				
①～⑪で記載 第一希望: () 第二希望: () ※①科技大臣賞を希望される場合は博士号情報を記入下さい				
博士号情報(氏名・大学・ 取得年月・4/1時点年齢)		※①科技大臣賞をご希望の場合、代表応募者①は個人名応募をお願いします。詳細応募要項参照。		
本取組・プロジェクトに係る受賞歴、他賞への応募状況があればご記入ください				
確認事項 ☐ 反社会的勢力、あるいはその関係者との関与はない ☐ 禁固刑以上の経歴はない				

【取組・プロジェクトの概要】

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800 字以内、推奨フォント：MS ゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

取組全体概要（連携の内容、目的、客観的な効果等）についてご記入ください。

客観的な効果等について実績が見込みかがわかるようにご記入ください。

（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

※A 4 用紙 1 枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

【連携の目的】社会的ニーズへの貢献について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800 字以内、推奨フォント：MS ゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性をご記入ください。(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

(評価ポイント)

- ・社会課題やニーズ対応のインパクト・影響の大きさ
- ・SDGs の課題設定や KPI を参考にした目標の設定
- ・政府の掲げる社会課題への対応
- ・将来の社会や産業の在り方への革新的インパクト・影響の大きさなど

※A 4 用紙 1 枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください

【連携の内容】先導性・独創性について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800 字以内、推奨フォント：MS ゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性をご記入ください。

(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

(評価ポイント)

- ・ 従前にはないプレーヤーの巻き込み
- ・ 互いの良いところを組み合わせ弱いところを補完する体制づくり
- ・ 適時適切なプロジェクトの進捗管理
- ・ 早めかつ包括的な知財戦略
- ・ 参加機関や参加者のモチベーションを維持向上するコミュニケーション手法の導入など

※A4用紙1枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

【連携の効果】客観的な効果と持続可能性について

(必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800 字以内、推奨フォント：MS ゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入内容】

連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、持続的かつ自立的な連携かなどをご記入ください。

(概要図(文字数に含めない)の使用は可)

※必ず何らかの数値指標を所定の欄にご記入ください。(項目数は適宜追加/削減ください。)実績か見込みかがわかるようにご記入ください。

数値指標の例：取組プロジェクトにおける売上、利益、雇用創出、参加者数、賛同者数、資金調達額、予算規模、取組プロジェクトで実現する効率性、生産性の向上を示す数値、その他取組において設定した KPI 等

(評価のポイント)

- ・ 連携の効果や持続可能性を示す定量的な数値
- ・ プロジェクトの効果と持続可能性を示す定性的な事項など

※A4用紙1枚(本ページ内)に収めること、超過分は審査対象から外れます。

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

効果等を示す
数値指標

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・